

2023年9月22日 第3445回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 藤村 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」
<ゲスト紹介> *墨田区観光協会 理事長 森山 育子 様
*青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君
<ビジター紹介> *横浜ロータリークラブ 梅津 茂晴 様
<会長報告> *第1グループ三役会 実施報告
*第3回理事役員会 実施報告
*ガバナー事務所から
・2024-25実施年度向け第1回地区補助金説明会のご案内
10月21日(土) 14:00~16:00
場所: JR藤沢駅南口 第一相澤ビル6階「会議室」
・国際ロータリー第2780地区 2023~2024年度地区大会のご案内
11月26日(日) 会場: 相模女子大学グリーンホール 12:30点鐘
講演: 慶応義塾大学総合政策学部教授 廣瀬 陽子 様
アトラクション: 洗足学園音楽大学 鼓弾・こだま
・2024-25年度ガバナー補佐およびオンツー・カルガリー国際大会委員会委員
にご就任委嘱の件 前田 長生 会員
- <委員長報告> *ローターアクト委員会 岡田 (圭) 副委員長から横須賀RAC例会のご案内
9月27日(水) 18:30~ 場所: 産業交流プラザ 内容: 地区大会打合せ
*ピンクリボン運動特別委員会 椿委員長からピンクリボンライトアップの報告
- <幹事報告> *ガバナー月信 NO. 3
*例会終了後、新会員セミナー(勉強会) 開催
*例会終了後、奉仕基金プロジェクト委員会 開催
*親睦旅行会費について
- <出席報告> *出席委員会 曾我委員長から9月22日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	マークアップ数	出席率
119名	106名	78名(9名)	28名	4名	77.36%

マークアップ: 小沢会員 地区委員会出席、臼井会員 地区委員会出席
鈴木(孝)、八木 両会員 第3回理事役員会出席

<ニコニコ報告>

- ・梅津 茂晴 様(横浜RC) 本日は参加させて頂きありがとうございます。
- ・三 役 墨田区観光協会理事長 森山 育子様、興味深い本日の卓話を楽しみにしています。
- ・比護、竹株、中村、荻山、木村、大石、長尾、権田、福西、
児玉、勝見、勝間、濱田、植田、小平、寺田、齋藤、新倉、
徳永、杉浦、小佐野、松本、江口、澤田、田中、南、田邊、杵淵、小山 各会員
墨田区観光協会理事長 森山 育子様、本日の卓話を楽しみにしておりました。
どうぞよろしく願いいたします。
- ・三 役 横浜RC 梅津茂晴様、ようこそ横須賀RCへお越しくださいました。楽しんで下さい。
- ・加藤、大野、椿、勝見、濱田、植田、小山、八巻、
岡田、松岡、田村、徳永、土田、前川、新倉 各会員
青少年交換留学生 Chia-yuan WEN (Sam) 君、横浜ロータリークラブ 梅津 茂晴様、
ようこそ横須賀ロータリークラブへいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・長尾 会員 横浜ロータリークラブ 梅津 茂晴様、横須賀ロータリークラブ例会にようこそ!横浜

ロータリークラブ例会とは一味違った例会をご体感ください。

- ・福島、野坂 両会員 入会月祝いとして
- ・石田、長尾、岡田、勝見、濱田、浅葉、笠木 各会員
ロサンゼルス・エンゼルス大谷翔平選手右ひじの手術が無事成功してよかったですね。
残りのシーズンで素晴らしいプレーを見ることができないのは残念ですが、元気な姿で
スタジアムに帰ってくることを待っています！
- ・小林、上林、岩崎、渡邊、齋藤、前田、角井 各会員 勝見の慎ちゃんお帰りなさい。

<卓 話> 「隅田川と内河川 ～ 江戸文化の継承と産業の発展」

墨田区観光協会
理事長 森山育子様

墨田区観光協会では理事長をしております森山育子と申します。

クレジットカード会社に勤めていた2000(平成12)年にリヴィンよこすか店の立ち上げのために横須賀に来ておりました。当時、安浦駅(現・県立大学駅)からこの地域は田んぼしかないような状況でしたが、それが23年でこんなに変わっていて、やはり街づくりは面白いと思います。

市川でケーブルテレビ会社の社長をやっていた際に、市川のロータリークラブに入らせていただきました。その後、墨田区観光協会に転職したため、墨田区のロータリークラブに入っておりましたが、仕事が多忙となってしまい退会することになってしまいました。

墨田区という名称は、1947(昭和22)年に向島区と本所区が1つになった際に、新しい名前として、「隅田川堤」の通称としての「墨堤」から「墨」、隅田川から「田」の2文字を選んで付けられました。平安時代には「隅田川」は「すみだ川」と呼ばれるようになり、能楽「隅田川」はその頃が舞台になっています。

江戸の文化として伝承されてきた歴史を振り返ってみると、今年久しぶりに復活した隅田川花火大会は1628(寛永5)年に浅草寺に来た高名な僧侶が隅田川で花火を遊んだのが最初であるといわれています。その後、明暦の大火といわれる振袖火事で江戸市街地の約6割が焼失し、10万人余りの人々が亡くなり、身元不明の遺体も出て、供養するために隅田川を渡ったところに回向院というお寺が作られました。そして、隅田川を渡るのに橋がないといけないということで、両国橋ができました。両国橋は、武蔵野の国と下総の国の2つの国に跨っていた橋なので両国橋といわれています。花火と並んで観光客が多いのが、墨堤の桜です。第4代将軍家綱の時に数本の桜を植えたのが始まりだといわれていて、その後吉宗の代になって100本の桜を植えて風光明媚な場所として今に伝わっています。また、この時に長命寺の桜餅が生まれています。吉宗の代になって、疫病がはやったことで、疫病退散のために花火が打ち上げられたのが両国の花火で、川開きという形での両国の花火の始まりといわれています。その後、回向院で勧進相撲が定着したことから、両国が相撲発祥の地になりました。

江戸から明治に移っていく中で、墨田区は近代軽工業発祥の地といわれます。その理由は3つあり、1つ目は江戸から明治に移る時に下級武士が無職になって、手先が器用な彼らに仕事を与える必要があったこと、2つ目は武家屋敷や田園など都心に近い広い敷地があったこと、3つ目は隅田川、荒川、内河川などに囲ま



れて水や水運を利用することができたことです。カネボウ、花王、ライオン、セイコーなどの会社がこの地で生まれました。

墨田区は、東京都内では大田区に次いで町工場が多い区といわれています。大田区では重工業やロケット、自動車、電車の部品などが多いですが、墨田区では印刷、金属、プラスチック、繊維、革、ガラス、玩具など生活に密着した産業が多いです。

墨田区観光協会では中期事業計画として、4つの戦略を掲げています。その中で特に、墨田区ならではの観光資源の磨き上げと着地型ツアー事業の回復、そして両国・錦糸町エリアを中心としたMICE誘致活動の推進を重視しています。

高度成長期には、工場や生活排水のために隅田川の水質は悪化し、汚染とメタンガスで悪臭を放っていました。両国の川開き花火大会や早慶レガッタも中止になってしまいました。その後、東京オリンピックを迎え護岸工事や環境整備をしていく中で、ようやく川がきれいになり、両国川開き花火大会は隅田川花火大会に名称を変えて再開されました。自然を守るのも、破壊するのも、やはり人間です。一度破壊された自然を取り戻すには、すごく時間がかかります。

墨田区は、2021(令和3)年に内閣府からSDGs未来都市と自治体SDGsモデル事業に選定されました。その中の活動として、墨田区SDGs宣言事業者というものを募集しました。自分達の活動として、SDGsの項目の中で一生懸命に取り組んでいることを宣言してもらうものです。墨田区観光協会としては、この活動を修学旅行の短期休暇の学習プログラムに生かしていこうということで、サステナブルな短期休暇観光として東京都にご協力をいただき、旅前、旅中、旅後という形のプログラムを作ってこの10月から旅行代理店様の方に販売していく形で進めています。

墨田区のイベントとしては、「隅田川七福神巡り」、「墨堤さくらまつり」、また「早慶レガッタ」などがあります。早慶レガッタは今年で92回目であり、表彰式と懇親会に早稲田大学と慶応大学の総長と学長がそろって出席されるのは早慶レガッタだけといわれています。隅田川花火大会は、今年初めて東京スカイツリーの展望台から見せていただきましたが、夜景の中に浮かび上がる花火なんだなということを改めて思いました。台東区の浅草観光連盟さんと一緒に両岸で開催している「とうろう流し」も文化的イベントです。また、アートプロジェクトである「隅田川森羅万象 墨に夢くすみゆめ」や、多数の団体が参加されているうちの1つとして「隅田川マルシェ」も実施しています。さらに、「隅田川ナイトクルーズ」というのが今すごく人気です。両国橋と言問橋は国道なのでライトアップされていませんが、その他の橋はライトアップされています。先日、国交大臣のところへ「この橋もライトアップしてほしい」と陳情に行ってきました。今後は両国橋と言問橋のライトアップも期待されます。最後に、「フィルムコミッション」として映画やドラマの撮影を誘致しています。今年は、山田洋次監督の「こんにちは、母さん」という映画が9月1日から公開されています。墨田区の向島が舞台です。コミュニティ新聞をお手元に配らせていただきましたので、ご覧ください。こういった形で河川を収録していただくと、聖地巡礼ではないですが、やはりきれいな川だと思います。

最後に、隅田川には川に関連したさまざまな協議会があります。これは行政だけではなく、地域の方とともに川をどのように活用するかという取り組みです。課題としては、スカイツリーと両国を結ぶ縦ラインを創設したいということと、先ほど述べた両国橋と言問橋のライトアップが課題になっています。

かなり駆け足になってしまいましたが、ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 権田 理司